

言葉は世界をつなぐ平和の礎



神田外語大学報

KUIS CAMPUS INFORMATION

第42号 平成25年12月25日

神田外語大学広報部発行 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1 TEL.(043)273-2826 Fax.(043)273-2988 URL <http://www.kandagaigo.ac.jp> E-mail prdept@kanda.kuis.ac.jp

2014年4月、新しい学食「アジアン食堂」がオープン!



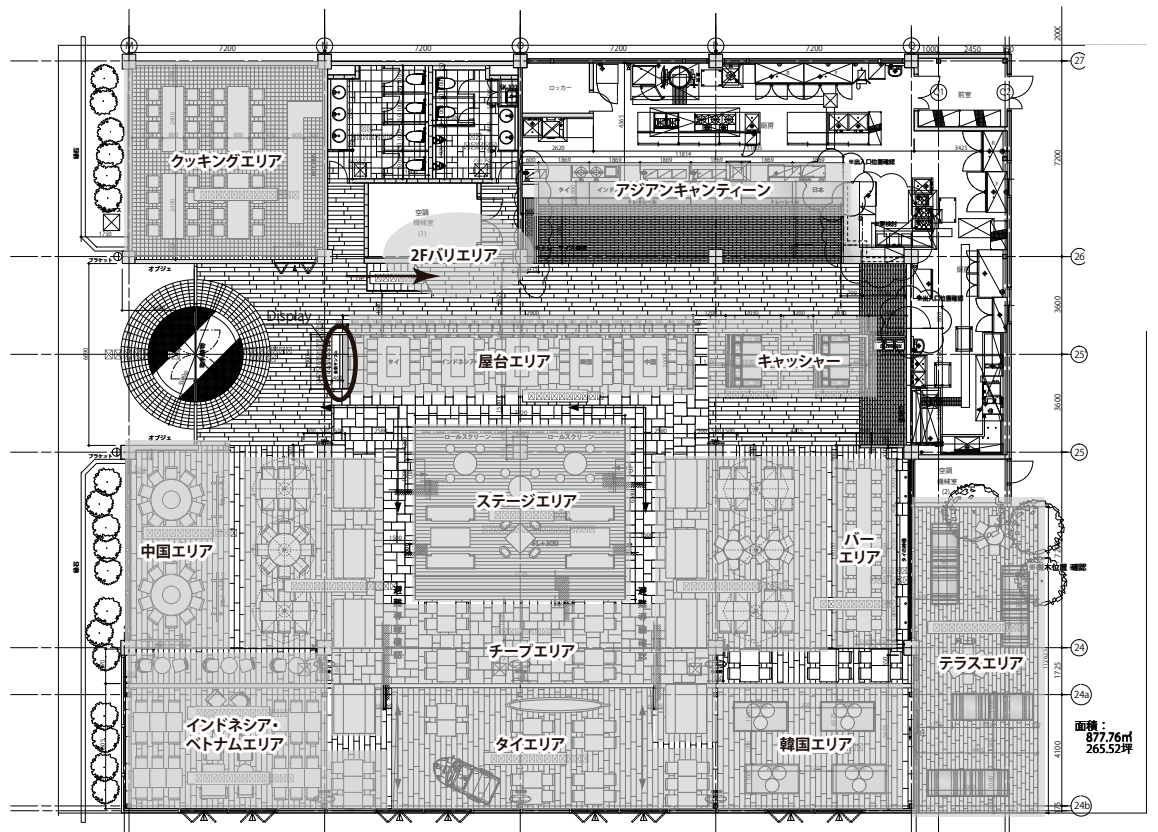
2014年4月、アジアの雰囲気を感じた新しい学生食堂「アジアン食堂」として、第1学生食堂がリニューアルオープン予定。これは、2012年の学科改編にてアジア言語学科が誕生したことに伴い企画されたもので、「その国を語るうえで欠かせない“食”を通して、アジアの文化を知って欲しい」という思いが込められている。学内にいながらにしてアジアが体験できる新しい空間が誕生する。

本場の味だけでなく、パフォーマンスも楽しめる空間

アジアン食堂では本場の味が楽しめるだけでなく、現地さながらの空気も味わえる。アジアの街並みを表現した「ストリートベンチエリア」やカラフルなテントが並ぶ「テント席エリア」、熱気あふれるアジアの臨場感が感じられる「屋台テーブルコーナー」などのエリアが用意されるほか、中国や韓国、インドネシア、ベトナム、タイをイメージした個室ブースも設置される。また、ステージエリアではタイのラムタイやインドネシアのガムランなど、学生サークルのパフォーマンスの場としても活用するなど、五感で楽しめる空間として生まれ変わる。

近隣の皆様にもお楽しみいただける空間に

本学学生だけでなく、近隣在住の皆様にも本場の食事やステージパフォーマンスを楽しんでいただけるよう、様々な形での開放を予定している。また、メニューを各国の言語で表記するなどの工夫を凝らすことによって、アジア言語学科の学生だけでなく、他言語専攻の学生もアジアへ興味を持つような仕掛けを模索中。訪れる人々に楽しく、美味しい記憶が残ることによって、「その国をもっと知りたい」という気持ちが自然と生まれる空間になることが期待される。



▶ 改装前の第1学生食堂



第27回 浜風祭開催!

10月26日(土)・27日(日)

『プレゼント～Hello! Anniversary～』をテーマに第27回浜風祭が開催された。26日(土)は台風の影響により雨が昼過ぎまで降り続き、天候が落ち着いてからの開催となったが、2日目の27日(日)は天気にも恵まれ、2日間で7,679名の方が本学を訪れた。

当日は、世界各国の料理が楽しめる屋台や民族舞踊・楽器演奏など、外語大ならではの国際色豊かな催しが満載で、来場した在学生や卒業生、近隣の方々などに楽しんで頂いた。また、浜風祭委員の企画では各国の民族衣装の試着体験や、世界各国をイメージした飲料を販売する“浜World Lounge”の他、各国にまつわるクイズに正解するとシールがもらえる“ワールドシールラリー”など、楽しみながら異文化にふれられるイベントが開催された。



第27回浜風祭を振り返って 浜風祭委員会委員長 中原 香菜子(国際コミュニケーション学科 国際コミュニケーション専攻 2年)



今年は台風の影響もあり浜風祭の開催も危ぶまれましたが、大きな事故もなく2日間開催できました。ご協力頂きました大学関係者の方々、参加者の皆様には深く感謝申し上げます。

今年の浜風祭は、大学の垣根を超えたイベントが目立ちました。海浜幕張にあるWBGラウンジとコラボしてつくったノンアルコールカクテルジュースの販売や、千葉工業大学のロボティクス教室の開催、委員の保護者や学生課職員の方々とおふくろの味(おにぎりとお餅)企画など、これまでの浜風祭にはない、新しい企画を実施しました。どの企画も、委員だけではつくることのできない、人とのつながりが感じられる企画だったと思います。もちろん以前からあった企画においても、今年のテーマの“プレゼント”にちなみ、来場者がよりワクワクするよう考え工夫をしました。特設野外ステージでの催しも昨年よりパワーアップし、学内参加者から「浜風祭で、一生ものの宝物ができました!」などのお言葉も頂きました。浜風祭を通し、皆様の中に何か生まれることが嬉しく、そのお言葉を聞いただけで、1年間浜風祭を準備してきてよかった、と思いました。そして最後に、今まで一緒に頑張ってくれた委員のみんな、本当にありがとう!

第2回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト



11月16日(土)、第2回全国学生英語プレゼンテーションコンテスト(主催: 神田外語グループ、読売新聞社)が開催された。コンテストはグローバル社会で活躍が期待される学生たちのスキルアップの場として、また、就職活動をする学生にとって、ビジネスの現場で求められる英語

でのプレゼンテーション能力をアピールする絶好の機会として、昨年に続き開催された。応募総数371名179組の中から1次予選を勝ち抜いた北海道から沖縄まで全国の大学(大学院)、専修学校等に在籍する学生278名が2次予選の会場となった姉妹校・神田外語学院に集まり、英語プレゼンテーションスキルを競い合った。「世界に目を向け思考する」という大会コンセプトのもと、「NYに観光PR拠点! アンテナショップ企画を考案」「世界中のバイヤーに日本が誇る農産品をアピール!」「宇宙ステーション『きぼう』夢ある活用方法をNASAに提案!」の3つのテーマの中から、制限時間10分でそれぞれ自分たちが選んだテーマについて発表した。

2次予選を勝ち抜いた本選出場者(個人5名、グループ5組)によるレベルの高い英語プレゼンテーションに多くの参加者も刺激を受け、満員の会場は終始熱気に溢れていた。最優秀賞は金澤小夢紀さん(群馬県立女子大学: 国際コミュニケーション学部英語コミュニケーション課程3年)が受賞し文部科学大臣賞等が授与された。本学からは、個人の部に参加した国際

コミュニケーション学科国際コミュニケーション専攻4年の中村俊宣さんが、「農業」をテーマにプレゼンテーションを行い、優秀賞(第2位)を見事受賞。トロフィー、奨学金20万円、ホテル宿泊券等の賞品を手にした。

本大会は、本学英米語学科の田中真紀子教授が審査基準を監修し、ELIの先生方を中心に1次、2次審査にあたり学園全体で大会運営をサポートした。当日の様子はNHKや日本テレビでも放送されるなど、全国規模のプレゼンテーションコンテストとしてマスコミからも注目され、来年も実施される予定。来年の大会では、より多くの本学学生がこの機会を逃すことなく全国の学生と覇を競い、最優秀賞を獲得することを期待したい。

昨年度も出場しましたが結果が出せず、今年こそはと思い出場しました。テーマに合致した内容を作りあげたものの、これで大丈夫かと不安になり練習は精神的にとっても大変でした。受賞した瞬間は嬉しいという気持ちを感じる心の余裕がなく信じられませんでした。今は自分の努力が報われたことに言葉では言い表せないほどの喜びを感じています。これからも伝える力を磨き続け、聞き手の心を動かせるプレゼンテーションができるよう、日々心がけていきたいです。

個人の部 優秀賞 中村俊宣さん
(国際コミュニケーション学科
国際コミュニケーション専攻 4年)



本選審査員: 元AP通信社北東アジア総支配人・元日本外国特派員協会会長 我孫子和夫氏、米国大使館 広報・文化交流部 文化担当官補 ジェフリー・D・アドラー氏、日本政府観光局海外マーケティング部長 小堀守氏、(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)有人宇宙ミッション本部 国際宇宙ステーションプログラムマネージャ 三宅正純氏、三井物産(株)食糧本部穀物事業第二部部长 長澤昇氏、元(株)ライプドア社長・小僧com(株)代表取締役会長 平松庚三氏、日興アセットマネジメント(株)ストラテジーアンドファイナンシャルプランニング部長 上田知子氏 後援: 文部科学省、外務省、国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会、米国外使館、宇宙航空研究開発機構、東京都専修学校各種学校協会、全国外国語教育振興協会、シンガポール政府観光局 特別協力: AOKI、スカート、パンパシフィック・シンガポール、一休.com 協力: AEONグループ、共立メンテナンス、富士急ハイランド、サンリオピューロランド、観音温泉、住友不動産ベルサール

第27回 浜風祭開催!

..... 細美武士 講演会 & Special Acoustic Live



7月18日(木)、本学卒業生の細美武士さん(英米語学科96年卒業、vocal& guitar; the HIATUS)を講師にお招きし、神田外語いしずる会主催「卒業生リレー講義 第3弾」が開講された。このリレー講義シリーズは在学生を対象に、卒業生が職業を通して感じていることなどを講義するもの。この回の講義の冒頭では“成功とは何か?”という質問に対し、学生数名が回答。その後、ご自身の半生を振り返りながら細美さんの考える“成功”について語られた。講義には約270名の学生が参加し、真剣な眼差しで聴き入る姿が多く見受けられ、「こんなに心に響く講義を聴いたのは初めて」などの感想が寄せられた。

また、第27回浜風祭初日の10月26日(土)には第4回目となる「細美武士 Special Acoustic Live」が開催され、抽選で選ばれた約200名の学生がミレニアムホールに集結した。ライブ中盤、学生1名をステージに誘い、一緒に歌を披露。その後、全学生と一緒に歌うよう呼びかけ、細美さんがコーラスを担当し、合唱する場面もあった。曲の合間に、大学時代の思い出や先輩として学生たちに語りかけながら進められた60分のスペシャルライブは、最後に熱いアンコールに応え、幕を閉じた。



◆◆◆◆◆ 第9回ホームカミングデー開催 ◆◆◆◆◆



台風一過の晴天に恵まれた10月27日(日)15時より4号館1階ラパスにて、神田外語大学同窓会主催の「第9回ホームカミングデー」が開催された。今回は、これまでのように全卒業生をご招待しての開催ではなく、2013年3月と9月に卒業された方々を代表年度としてお招きし、118名の卒業生が参加した。

当日は、佐野元泰理事長をはじめ、佐野隆治会長、酒井邦弥学長の他、アジア言語学科/中国語学科から花澤聖子教授、イベロアメリカ言語学科/スペイン語学科からは柳沼孝一郎教授、本田誠二教授、アンヘル・ブラーゴ教授が出席され、ご挨拶を頂いた。

懇親会では新企画として「幕張スイーツバイキング」と銘打ち、大学近隣の洋菓子店にケーキや焼き菓子等を用意して頂き、参加者にふるまった。杉本雅視同窓会長の乾杯の発声と同時にスイーツの周りには行列ができ、あっという間になくなるほどの人気ぶりだった。また、参加者をAからJのグループに分け、在学生に伝えたいメッセー

ジと「3年後の自分に伝えたいこと」を記入し、タイムカプセルに保管するという試みも実施。このタイムカプセルは、3年後に今回の参加者が主体となって同窓会を開く時に開封することとなっている。

毎年恒例のライブパフォーマンスでは、2年振りにキャラメルマシーンのお2人が登場。SADAさん(英米語学科98年卒業)のキレのある正統派マジックとおだじさんのボケがさらにパワーアップし、会場は大きな笑いに包まれた。ショーの終盤では、今年7月にアメリカ・アリゾナで行われたIBM Magic Conventionステージコンテストで特別コメディー賞を受賞した際のマジックが披露された。会の締めくくりは、毎年恒例の大抽選会。ブリティッシュヒルズ1泊2日ペア宿泊券の他、イオン商品券や同窓会特製ランチボックスと箸が景品として当選者に配られるなど、笑顔の中でホームカミングデーが幕を閉じた。

【同窓会事務局より】

神田外語大学同窓会は、これからも卒業生が母校に帰る機会の創出や卒業生による在学生支援活動など、様々な事業を展開してまいります。卒業生の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



イオングループとパートナーシップを締結



本学は、アジアNo.1の小売企業を担う人材の確保を目指すイオングループと、これからの日本社会の中核を支える人材に共通して求められる資質の向上、国際社会に通用する人材の育成を推進することで合意し、産学連携の新局面への取り組みとして、「パートナーシップに関する協定」を締結した。

イオンは中国や東南アジアで事業を拡大。本学の施設をはじめ、日本語や日本文化を学ぶ教育プログラムを利用し、優秀な若手外国人の育成を強化する。また、イオンは本学の学生向けにインターンシップを実施。イオンのショッピングセンターやスーパー、系列会社などで教育を支援する。

提携の主な内容

- ・イオングループ国内外における就職活動への協力、インターンシップの実施、ワークショップの開催
- ・神田外語グループで開催する地域住民、学生を対象としたイオンの公開講座(流通・小売・CSRなどに関する講座)、シンポジウムの開催等
- ・イオングループ国内外の従業員を対象とした神田外語グループの教授・講師等による語学・文化等の研修実施(英語・日本語・中国語・インドネシア語・ベトナム語・タイ語など)
- ・神田外語グループの学生による、イオン従業員向けの理念教育教材の翻訳
- ・イオンが実施するCSR活動への学生参加、協働イベントの開催等

大学院言語科学研究科東京キャンパスがオープン。先進のTESOL(英語教授法)学位プログラムがスタート!

**卒業生には
学費減免制度が
適用されます。**

最新理論に基づき、効果的に英語指導法を学び、TESOL(英語教授法)カリキュラムによるMA(修士号)を得ることができる学位プログラムがこの秋、東京・神田で始まりました。

TESOL(英語教授法)分野で第一級の講師陣による講義は全て英語で実施。週末(土・日)や長期休業期間に集中的に講義を行い、2年半かけて英語

教育の専門家を養成します。また、学位プログラム以外に、TESOLを基本とした「TESOL証書プログラム」も用意されています。

詳しくはHPをご覧ください。

http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/subject/grad/language/e_tesol/jp/

TESOLプログラム
2014年4月生
入学試験日程

- 出願期間 2月3日(月)~2月28日(金)必着
- 1次審査結果 3月7日(金)通知
- 2次審査(面接試験等)
3月15日(土)、16日(日)の中から1日を選択して
面接試験等を受けて頂きます。

- 合格発表 3月20日(木)通知
- 入学手続 3月20日(木)~3月26日(水)
- 授業開始 4月下旬

入学試験の詳細や出願書類については、
大学HPをご覧ください。

神田外語大学大学院
東京キャンパス
〒101-8525
東京都千代田区内神田2-13-13
Tel: 03-3254-3586
Email: tesol@ml.kuis.ac.jp

KUIS NEWS FILE

神田外語グループ公開講座

2013年夏、「世界人になる」をテーマに札幌、東京、静岡など東日本の全10都市にて、神田外語グループ主催の公開講座「教科書にのっていない世界の授業2013」[英語教育公開講座]が開催された。「世界人」とは、国や文化など、自分のルーツをしっかりと理解し海外のさまざまな文化や価値観を受け入れることができる、いわば「地球規模のコミュニケーション上手」な人のこと。

世界共通のコミュニケーションツールである英語や、その他の言語(中国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語)を学べる講座の他、開催各都市にある文部科学省「グローバル人材育成推進事業」に採択された大学とコラボレーションした講義や、地元から世界に進出している企業・団体の方々の講義など、世界人への第一歩を踏み出すためのヒントが詰まった講座が開講された。

また英語教員向けの「英語教育公開講座」では、神田外語グループの教員が英語教授法の基礎から指導方法まで、それぞれの専門分野を伝授した。合計参加者数は3,585名、講座参加者数(のべ)は10,783名と、大盛況のうちに終了した。



第2回インドネシア支部同窓会を開催

7月30日(火)、インドネシア・ジャカルタにあるグランド・サヒッドジャヤ・ホテルにおいて卒業生を主な対象に、インドネシア支部としては第2回目となる同窓会「Kanda Gaigo Friendship Party 2013 in Jakarta」を開催した。(神田外語大学同窓会とキャリア教育センター共催)

当日は本学卒業生に加え、国際協定校であるアトマジャヤ大学とリア外国語大学の教職員・元交換留学生やその他本学にゆかりのある関係者総勢32名が集まった。本学からはキャリア教育センター杉本雅視次長(兼神田外語大学同窓会会長)、本学のインドネシア戦略を担当する田中理明コーディネーターなど職員が参加し、インドネシアにおける仕事・生活の様子や、大学及び同窓会に対する支援について参加者からヒアリングを行った。

現在本学は日本国内では数少ないインドネシア語専攻を有する大学として、インドネシアにおけるインターンシップの実施や日本人卒業生及びインドネシア人元留学生の就職支援に力を入れていく方針であり、今回はその活動の一環としてこのようなイベントを行った。



世界21カ国・地域の高校生が本学を訪問

10月28日(月)、世界21カ国・地域の高校生が集い交流を深める「世界教室国際フォーラム」(関東国際高等学校主催)の一団が、本学を訪問。セミナーや日本文化体験を通じ、本学学生と交流を深めた。

今回の訪問は、異文化理解や多文化共生を学ぶ両校の教育的狙いが一致したことから実現。亀井ダイチ・アンドリュー特任講師(英米語学科)による「Japan's Communities: Past and Present」の基調講演では「住居と文化、コミュニティと幸福感」について考え、国境を越えた討論が行われた。また、多くのボランティア学生が参加し、駄菓子で作った首飾りで歓迎した他、数週間かけてオリジナルで制作した「かるた大会」を開催。日本文化を楽しみながら学べるよう工夫を凝らすと同時に、外国の高校生に直接伝える事で、日本文化を見つめ直す良い機会となった。



「第1回 KUIS ビブリオトーク」を開催

9月30日(月)～10月4日(金)の昼休み、「第1回 KUISビブリオトーク」が開催された。このビブリオトークは、「本を通して人を知る。人を通して本を知る」をテーマとする「ビブリオバトル」の趣旨に則り、本学教職員が学生にそれぞれの「オススメの本」を5分間で熱く紹介するというものである。

5日間にわたって行われたビブリオトークには、合計で112名の学生・教職員が参加した。ランチタイムの開催ということもあり、参加者は食事をとりながら、和やかな雰囲気の中で「人」と「本」にふれ合った。

学生が新たな本に出会い、友達や教職員との新たな交流をはかるきっかけとすべく、今後も引き続き開催を予定している。



第78回外務省在外公館派遣員試験にて7名合格

第78回外務省在外公館派遣員試験において、本学と姉妹校・神田外語学院の在學生・卒業生7名が合格した。今回合格した7名を含め25名の在學生・卒業生が、現在各国在外公館(大使館・総領事館)で活躍している。



佐藤 亜実(サトウ アミ)

英米語学科4年
[赴任先] 在エストニア大使館

長澤 彩香(ナガサワ アヤカ)

英米語学科4年
[赴任先] 在ニューヨーク総領事館

貝塚 友梨(カイツカ ユリ)

国際言語文化学科* / ブラジル・ポルトガル語専攻
2013年卒業

[赴任先] 在リオデジャネイロ総領事館

小林 純子(コバヤシ ジュンコ)

国際言語文化学科* / ブラジル・ポルトガル語専攻
2005年卒業

[赴任先] 在サンパウロ総領事館

小松 瑞穂(コマツ ミズホ)

国際コミュニケーション学科/国際コミュニケーション専攻4年

[赴任先] 在アラブ首長国連邦大使館

千代田 元樹(チヨダ ゲンキ)

神田外語学院/英語専攻科2年
[赴任先] 在ジッダ総領事館

北村 舞(キタムラ マイ)

神田外語学院/国際エアライン科
2010年卒業

[赴任先] 在香港総領事館

*現イベロアメリカ言語学科

この試験の対策勉強会はグローバル・コミュニケーション研究所が主催しています。在學生・卒業生の皆さんで希望する方は、いつからでも参加可能ですので下記までお問い合わせください。

グローバル・コミュニケーション研究所

久保谷 富美男(元在オランダ日本国大使館派遣員)
TEL:043-273-2324
E-mail:kubotani@kanda.kuis.ac.jp

「第42回技能五輪国際大会」で学生が通訳

7月2日(火)～7日(日)、ドイツ・ライプツィヒで開催された「第42回技能五輪国際大会」にて本学学生3名が通訳を行い、世界を舞台に貢献、活躍した。

IT Software Solutions for Businessの日本代表エキスパート(参加選手の監督)である千葉工業大学の中村直人教授より、大会での通訳・翻訳業務が本学の通訳・翻訳課程の学生へ打診され、今回のドイツ大会への参加が実現した。

学生たちはIT Software Solutions for Business、Graphic Design、Web Designの3種目に参加。大会に先立って4日間にわたり開催されたエキスパート会議(代表選手の監督者会議)では競技の課題が発表され、学生たちは会議終了後、毎日夜遅くまで課題の通訳に全力を注いだ。大会開催期間中は選手の通訳を中心に、全身全霊で業務にあたった。



J.K. Chambers教授(カナダ・トロント大学)の講演会開催

9月26日(木)、第16回GCIキャンパス・レクチャー・シリーズとして『カナダ英語はアメリカ英語とどう違う!? ―世界で一番長い国境線の両側の英語―』が開催された。

本講演は矢頭典枝准教授(英米語学科 / グローバル・コミュニケーション研究所副所長)が担当する「カナダ研究入門II」の授業内で行われた。講義では、カナダとアメリカの国境であるナイアガラの滝の両側(オンタリオ州とニューヨーク州)、ブリティッシュ・コロンビア(BC)州とワシントン州の国境地点、ニューブランズウィック(NB)州とメイン州の国境地点を主な調査地点とし、カナダとアメリカの国境の両側における英語の発音や語彙に関する調査結果をChambers教授にお話しいた。

世界的に著名なChambers教授による本講演は、本学学生のほか言語学研究者や大学院生などが県外からも来場し、熱心に講演に聞き入っていた。



「第1回動物総選挙」開催

9月22日(日)、千葉市動物公園にて本学と千葉市の共同企画である「第1回動物総選挙」が行われた。

この「動物総選挙」は千葉市動物公園を盛り上げるため、人気のレジャーパンダ・風太くんにくく園内のNO.1アイドルを選挙によって決定するという趣旨で、「ビジネス・インターンシップ」の授業の一環として行われた。

学生による日本語、英語、韓国語、タイ語、ポルトガル語による選挙応援演説の他、各国の料理が楽しめる国際交流屋台村やクイズラリーなども行われ、投票の結果、千葉市動物公園のNO.1アイドルは、ハンピロコウに決定した。学生たちは、社会と関わる貴重な体験ができたことを喜び、当日を振り返っていた。



神田外語大学ボランティアセンターを設立

2011年3月11日の東日本大震災以降、地域社会、国際社会からのボランティアに対するニーズは年々増加傾向にある。神田外語大学ボランティアセンターは、学生の主体性、自立性、能動性を高め、学生の社会参画活動を推進し、グローバルな人材の育成を図る目的として、2013年4月1日に発足した。

現在は、学生課の中にボランティアセンターを臨時に設け、専任スタッフ1名と学生課兼任のスタッフ1名の計2名体制でスタート。2013年度は、これまでに約250名の学生がボランティア活動に参加した。

今後ボランティアセンターでは、学外の多くのボランティア情報を集約、一元管理し、専用の情報サイトを構築する。また、学生の皆さんには、ボランティアを身近に感じ、気軽に参加してもらうためのボランティア講演会や、海外のボランティア活動に積極的に参加できるように、基本的な知識、スキル等を身に付ける講座の開講などを予定している。

【2013年度ボランティア活動】(2013年11月現在)

- 成田空港ボランティア 参加者数56名
- 千葉市ゴミ減量ボランティア 参加者数8名
- 「東京ゲームショウ2013」通訳ボランティア 参加者数8名
- 幕張南小学校ニュージーランド交流会ボランティア 参加者数28名
- 幕張南小学校学びのフェスタ 参加者数20名
- 磯辺小学校国際文化交流会 参加者数8名
- 東日本大震災復興教育ボランティア 参加者数47名
- イオン植樹祭ボランティア 参加者数39名

東日本大震災復興教育ボランティア

2011年から毎年実施している、東日本大震災復興教育ボランティア。「英語教育活動を通して、被災地の子どもたちに英語を楽しんでもらう」という活動目的のもと、8月5日(月)～9日(金)の5日間にわたり、宮城県亘理町にて39名の学生*1が5ヶ所の児童館で英語アクティビティを実施。9月1日(日)～4日(水)の4日間は福島県三春町にて、17名の学生が三春町立の三春小学校と御木沢小学校の2ヶ所で英語教育活動を行った。

ボランティアに参加した学生たちは、それぞれの活動前日に開催された震災講演会で被災時の様子や現在の課題を学び、被災地でボランティア活動をする意味を改めて考える機会となった。また、今回の教育ボランティアは例年と異なり、東北復興支援の学生サークル「Re:Japan」*2と大学事務局の協働で実施された。

*1 39名中9名は姉妹校・神田外語学院の学生

*2 Re:Japanとは東日本大震災の被災地に焦点を当てた活動をしているサークル



「東京ゲームショウ2013」に学生8名が通訳ボランティアとして参加

9月19日(木)～22日(日)の4日間、幕張メッセ(千葉市美浜区)にて「東京ゲームショウ2013」が開催された。東京ゲームショウとは、様々な国と地域から企業・団体そして学校が出展し、最新のゲーム情報が発信される日本最大規模のイベント。19日(木)、20日(金)の2日間はビジネスデーとして報道関係者やゲーム業界関係者向けに開催され、21日(土)、22日(日)の2日間は一般公開日として一般の方に向けて開催された。

今回は18年連続出展されている、日本電子専門学校(学校法人電子学園・東京都新宿区)のブースに本学学生8名が通訳ボランティアとして参加。主に海外からのお客様に対し、日本電子専門学校のゲーム作品紹介と、詳細説明に関する通訳を担当した。また、通訳以外にもスタッフの一員として様々なブース運営のサポートを行った。



英米語学科 白井直人准教授が ご逝去されました

英米語学科の白井直人准教授が、10月16日(水)急性心筋梗塞のためご逝去されました。

白井先生は1996年より非常勤講師として就任後、2002年より英米語学科専任の教員として教鞭をとられていました。浜風祭では毎年、在学生や卒業生とバンドを組み、熱のこもった演奏を披露するなど、学生との距離が近く、信頼の厚い先生でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

白井直人先生との思い出

10月16日(水)に白井直人先生が亡くなりました。浜風祭でのバンド演奏直前である。ここ数年ご体調を周期的に崩されることはあった。だが、あまりに早すぎる。

ロック好きの白井先生は、ギターとボーカルで10年以上も浜風祭に参加され、2006年には自身のバンドも結成された。バンドのコンセプトを、白井先生は「教職員、在学生、卒業生が一体で楽しめること」とおっしゃっていた。その言葉通り、このバンドは教員と卒業生から成り、よく学生も加わった。今年の浜風祭ステージは、学生の支援で追悼ライブとなった。多くの人が集まった。白井先生がどれほど慕われていたか物語る光景だった。

ロックの本質が常識への異議申し立てにあるとすれば、白井先生の教育に対する姿勢もロックであった。コミュニケーション学を専門とする白井先生は、ディベート、パブリック・スピーキング、研究演習などの科目を通して、学生にあたりまえを問い、批判的思考を養うことの大切さを伝えてこられたからだ。教材はすべて手作り。授業では撮影した学生の発表を吟味させ、一人ひとりに詳細なコメントを書いて渡す。これを繰り返す。気の遠くなるような作業だが、妥協されなかった。

学生委員長を長年務められた。学生のために研究室のドアはいつも開放されていた。「僕はこの大学が好きだ、学生が好きだ」とよく口にされた。神田外語大学と学生とロックをこよなく愛した白井先生に、心から「ありがとう。安らかにお休みください」と申し上げます。

英米語学科准教授 黒崎 真

神田外語大学出版局が『英語学習手帳 2014』を刊行!!

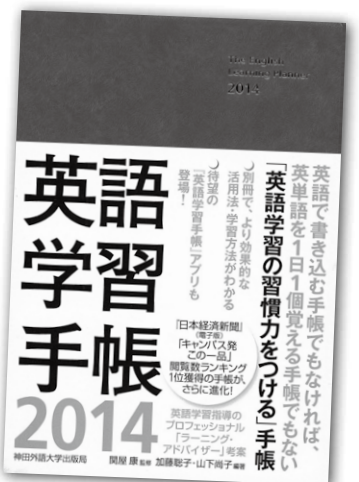
11月8日(金)、神田外語大学出版局が刊行第6弾となる『英語学習手帳 2014』を刊行した。本書は、英語学習指導のプロフェッショナルである「ラーニング・アドバイザー」によって考案された、英語学習の「習慣力」をつけるための手帳である。

昨年、「英語学習の習慣化」をはかる初の手帳として全国書店にて発売された『英語学習手帳 2013』は、各方面で話題を呼び、『日経ビジネスアソシエ』『monoマガジン』『English Journal』などの雑誌でも紹介され、『日本経済新聞』での「キャンパス発 この一品」コーナーの電子版閲覧数ランキングでは見事に第1位を獲得。幅広い層から支持を受け、完売となった。

2年目となる今年は、「より使いやすく、わかりやすい手帳」とするべく、2013年度版ユーザーの声をフィードバックし、内容を全面的に改良。「習慣力育成プログラム」を新たに導入し、より強靭に学習をサポート。また、定評のある手帳用紙を新たに採用し、さらに薄く・軽くなるなど、手帳としての機能も格段に向上した。

付録の「別冊」には、効果的な活用法・学習方法のアドバイスを多数収録した他、今年はいよいよ待望の英語学習手帳アプリ(iPhone用)も登場(12月予定)。神田外語大学および神田外語グループにおける英語教育のノウハウを結集し、「本気で英語をモノにしたい」学習者を全面的にサポートする仕組み満載の手帳となっている。全国書店、ネット書店にて購入可能。

監修:関屋 康(神田外語大学英米語学科教授) 編著:加藤聡子・山下尚子(神田外語学院VISTAラーニング・アドバイザー)
アートディレクション:菊地信義 デザイン:水戸部功 判型:A5判 ビニール装 頁数:本体208頁+別冊48頁 重量:250g(本体)
定価:1,890円(税込) ISBN:978-4-8315-3005-9 発行:神田外語大学出版局 発売:株式会社ペリかん社



スピーチコンテスト

「第30回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」(10月19日)

「第30回全日本中国語スピーチコンテスト千葉県大会」において、本学からも学生が参加し、優秀な成績をおさめた。スピーチの部で入賞した寺尾さんは、2014年1月12日(日)に東京で開催される全国大会へ出場する。

■受賞者
【スピーチの部】
千葉県知事賞(優勝) 寺尾 光代(4年生)



【朗読の部】
千葉県議会議長賞 横地 信康(1年生)
千葉国際コンベンションビューロー賞 吉留 千尋(1年生)

「第7回ベトナム語スピーチコンテスト」(11月2日)

本学主催、在日ベトナム社会主義共和国大使館後援の「第7回ベトナム語スピーチコンテスト」が本学にて開催された。「平和、希望」をテーマに、5大学17名が参加し、本学学生も優秀な成績をおさめた。また、休憩時にはベトナムの歌や舞踊、伝統楽器の演奏が披露された。

■受賞者
【最優秀賞(全カテゴリー中)】
讃井 綾香(東京外国語大学/カテゴリーD)



【カテゴリーA(1年生の詩の朗読部門)】

- 1位 乾野 元希(大阪大学)
- 2位 坪之内桃子(神田外語大学)
- 3位 伊勢田有加(大阪大学)

【カテゴリーB(2年生のスピーチ部門)】

- 1位 椎名 結実(神田外語大学)
- 2位 本間 美帆(東京外国語大学)
- 3位 吉宗 里菜(大阪大学)

【カテゴリーC(留学未経験/3・4年生のスピーチ部門)】

- 1位 内藤 寛大(大東文化大学)
- 2位 佐藤 翔(神田外語大学)
- 3位 渡邊 杏里(東京外国語大学)

【カテゴリーD(留学経験者/3・4年生のスピーチ部門)】

- 1位 吉野 絵莉(大阪大学)
- 2位 栗間さやか(神田外語大学)

【カテゴリーE(ベトナム人を親にもつ学生)】

- 1位 菊池ファミグアン(神田外語大学) *参加者1名のため、得点に該当する順位を授与

■参加大学(五十音順)

- 大阪大学
- 神田外語大学
- 大東文化大学
- 東京外国語大学
- 立命館アジア太平洋大学

「第27回全日本学生中国語弁論大会」(11月30日)

京都外国語大学主催の「第27回全日本学生中国語弁論大会」において、本学からも学生が参加し、優秀な成績をおさめた。

■受賞者
京都外国語大学総長賞(最高賞)
小林 優美(2年生)



「第7回インドネシア語スピーチコンテスト」(11月30日)

「第7回インドネシア語スピーチコンテスト」が本学ミレニアムホールにて開催された。「未来の栄光のためのインドネシア、日本両国による共同構築」をテーマに計7大学23名が参加し、本学の学生も大変優秀な成績をおさめた。また、休憩や審査の時にはガムラン演奏やバリ舞踊も披露され、観客を楽しませた。



■受賞者
【総合最優秀賞】(全カテゴリーから1名)
カテゴリーC 吉野 七海(神田外語大学)

【カテゴリーA(1、2年生の部)】

- 最優秀賞 山田 朋佳(立命館アジア太平洋大学)
- 優秀賞 稲垣 楓香(神田外語大学)
- // 野尻 優子(大阪大学)
- // 福地悠里子(立命館アジア太平洋大学)

【カテゴリーB(3、4年生の部)】

- 最優秀賞 富澤 奈々(神田外語大学)
- 優秀賞 樺山 依美(神田外語大学)

【カテゴリーC(インドネシア語圏在住経験者)】

- 最優秀賞 須賀友莉子(神田外語大学)
- 優秀賞 片岡 未来(神田外語大学)

【カテゴリーD(社会人)】

- 最優秀賞 森川 寛信(会社勤務)

■参加大学(五十音順)

- 大阪大学
- 神田外語大学
- 慶応義塾大学
- 創価大学
- 東京外国語大学
- 立命館アジア太平洋大学
- 早稲田大学

神田外語大学にしかできない就職支援を目指して

～卒業時内定実績を求める就職支援(点)から卒業生の10年を見据えた就職支援(線)への取り組み～ キャリア教育センター次長 杉本 雅視

1987年4月に開学し、1991年3月に最初の卒業生を社会に送り出した本学ですが、最初の卒業生は社会の何処を見回しても神田外語大学の先輩がいるはずもなく、自らの実力で社会人生活をスタートさせていくしかありませんでした。

しかし、現在では1万人を超える多くの卒業生の活躍により、1980年代以降に新設された大学の中で、社会的な評価を大きく受けることが出来た大学の一つと考えています。そのような状況のもと、現在まで十分な就職実績を上げてきましたが、近年の社会の複雑化に伴い、学生への就職支援業務は常に様々な変化への対応を求められています。例えば、本学が初めて卒業生を出した1991年3月と現在の4年生が卒業する2014年3月の就職状況の大きな違いとしては、(1)少子化の一方で大学進学率が50%を超え、大学生数が増加している。(2)有名企業へのエントリーがITの活用により容易になった一方で、特定の企業への競争率が高くなり、長期にわたる就職活動を強いられる、など。このような社会の変化への対応として、低学年次から履修ができるキャリア関係の授業の開講や単位認定を伴う「ビジネス・インターンシップ」などの実施により、大学の4年間で卒業後のキャリア観を育成することに取り組んでいます。高学年次からは個性と志向を活かすことを念頭に、また、就職先でのミスマッチが起こらないよう個々の学生に対して丁寧なキャリア教育並びに就職支援を行っています。

現在、国内においては「3年以内に3割の新卒者が離職する」という状況が依然として存在しており、その対策として離職率の低い企業を紹介することに取り組んでいます。また、今後は「卒業時の内定実績(点)」をゴールとする従来の考え方から、「卒業から10年間を見据えた支援(線)」の視点を加えた2本の大きな柱で捉えていきたいと考えています。

そのためには学生、キャリア教育センターの2者だけでなく、卒業生や保護者の皆様を加えた4者が密接な連携を取りあっていくことが、卒業後10年間を見据えた就業に繋がっていくと考えています。

キャリア教育センターは卒業生や保護者の皆様からのご支援とご意見を頂きながら、学生の就職支援を行っていきたく考えています。同時に、これから学生・保護者・卒業生など本学に関わる多くの関係者の皆様に対し、就職に関する情報を積極的に発信していきたいと考えています。「すべてはこれからの将来を担う学生のために」をモットーに、これからも広くご支援を頂きますようお願い申し上げます。

主要内定先企業一覧

【製造/建設】KYB(株)/TOTO(株)/(株)伊藤園/(株)キッツ/サトーホールディングス(株)/タマホーム(株)/(株)ディスコ/テルモ(株)/日精樹脂工業(株)/福島工業(株)/(株)ミツバ/(株)ミルボン/大東建託(株)/大和ハウス工業(株)/(株)オーバル/(株)ジーテクト/(株)ミマキエンジニアリング/(株)守谷商会/(株)アールエイジ/上板塑性(株)/(株)セントラルユニ/ホーユー(株)/(株)前川製作所【商社/卸売/小売】(株)AOKI/(株)TTC/アイ・ティー・シーネットワーク(株)/(株)カスミ/(株)ガリバーインターナショナル/(株)ジーユー/(株)はせがわ/(株)ハニーズ/(株)バル/はるやま商事(株)/(株)パロ/(株)ポイント/(株)マルエツ/(株)ヤオコー/(株)ユナイテッドアローズ/(株)ユニクロ/(株)リョーサン/横浜冷凍(株)/三共生興ファッションサービス(株)/(株)ジーフット/(株)NalTO/(株)アイデアインターナショナル/(株)ウイン・インターナショナル/(株)エフティコミュニケーションズ/(株)コックス/(株)サダマツ/スターバックスコーヒージャパン(株)/(株)ジマ/(株)ルネサスイースト/(株)サマンサタバサジャパンリミテッド/スターティア(株)/(株)カインズ/(株)金鳳堂/(株)クロスカンパニー/(株)ジャパナビパレッジホールディングス/(株)セブン-イレブン・ジャパン/タリーズコーヒー(株)/(株)チチカカ/千葉日産自動車(株)/(株)千葉マツダ/(株)ドトールコーヒー/(株)ホンダカーズ千葉/三井物産プラントシステム(株)/(株)三越伊勢丹/(株)未来屋書店/(株)メガスポート/(株)ヨドバシカメラ/(株)羽田エアポートエンタープライズ/興和通商(株)/(株)ドール/(株)日本アクセス/日立建機トレーディング(株)/飯田通商(株)【銀行/証券/生保/損保】(株)みずほフィナンシャルグループ/(株)千葉銀行/(株)常陽銀行/第一生命保険(株)/千葉信用金庫/(株)東京スター銀行/明治安田生命保険相互会社【運輸/物流/空港/航空】センコー(株)/日本航空(株)/全日本空輸(株)/ヤマトロジスティクス(株)/郵船ロジスティクス(株)/丸全昭和運輸(株)/(株)日新/(株)スターフライヤー/伊勢湾海運(株)/(株)JALスカイ/岡本物流(株)/(株)ジェイエア/シンガポール航空/(株)ベストショッピング/(株)マルニートラルサービス/空港ターミナルサービス(株)/鴻池運輸(株)/第一港運(株)/内外日東(株)【旅行/ホテル】(株)エイチ・アイ・エス/(株)共立メンテナンス/近畿日本ツーリスト(株)/リゾートトラスト(株)/JTB PTE LTD/(株)JTBガイアレック/(株)JTB関東/(株)JTBコーポレートセールス/(株)JTB首都圏/(株)JTBワールドバケーションズ/(株)アイエシィトラベル/アパホテル(株)/浦安ブライTONホテル/小田急トラベル(株)加賀屋(株)ニュー・オータン/パークハイアット東京/ヒルトン・ワールドワイド/グランドハイアット東京【サービス/その他】KDDI(株)/(株)サイゼリヤ/(株)ゼンショーホールディングス/ソフトバンクグループ/(株)ティクアンドギヴ・ニーズ/トランスコスモス(株)/(株)ニチイ学館/(株)エフ・ジェー・ネクスト/(株)プレナス/(株)マクロミル/ヤフー(株)/(株)ラウンドワン/(株)大塚商会/(株)キューブシステム/(株)プレステージ・インターナショナル/楽天(株)/スターツコーポレーション(株)/(株)オプト/(株)CDG/(株)地域新聞社/(株)アドウェイズ/(株)インフォマート/(株)エー・ピーカンパニー/(株)ABC Cooking Studio/日本郵便(株)/(株)日本レストランエンタプライズ/(株)プライダルプロデュース/米国三越【公務員】埼玉県庁/警視庁/埼玉県警察本部/東京消防庁【在外】外務省在外公館派遣員(エストニア)/外務省在外公館派遣員(ニューヨーク)/外務省在外公館派遣員(アラブ首長国連邦)(2013年9月現在、一部抜粋、順不同)

地球のたびびとSpecial

旅の途中で出会った思い出深い町、風景、人々……。今回は、本学の訪問団がアメリカ、中南米を訪問した様子をレポート。更に、佐野元泰理事長による東南アジア、アメリカ、中南米訪問の総括をお届けします。



佐野元泰理事長をはじめとする訪問団がアメリカ、メキシコ、キューバを訪問



グアダハラ自治大学(メキシコ)にて

8月16日(金)～29日(木)、佐野元泰理事長、柳沼孝一郎副学長(イベロアメリカ言語学科/スペイン語学科教授)をはじめとする神田外語大学の訪問団がアメリカ、メキシコ、キューバを訪問した。

今回の訪問は昨年の東南アジアに続く本学の重点地域における交流の一環として、国際協定校や本学卒業生が勤務する企業訪問、卒業生や留学中の在學生と情報交換を兼ねた親睦を深めることが目的で、本学と各国の学術文化交流のさらなる促進と将来構想について、戦略的な意見を交換した。

アメリカではニューヨーク、ボストンで活躍する卒業生、留学中の在學生との懇親の他、マサチューセッツ工科大学内のメディアラボを訪問。本学も語学教育におけるデジタル技術の応用を活かした取り組みを模索することとなった。また、メキシコやキューバでは、本学からの日墨政府交換留學生が研修するメキシコ国立自治大学附属機関・外国人スペイン語教育

センター、本学と学術協定を締結する国立グアダハラ大学およびグアダハラ自治大学、そして在メキシコおよび在キューバ日本国大使館、メキシコ日本商工会議所等を訪問し、本学との学術および文化交流の更なる促進と将来構想について話し合いが持たれた。その他、一団は本学卒業生が就労しているアメリカ、メキシコ、キューバの各国企業を訪問し、歴史・経済・社会の各分野について意見を交換した。

本学は今後も世界各国・地域における大学や企業・官庁、卒業生とのネットワークの拡大と深化を目指す。

* 東南アジア訪問のレポートは大学報第41号に掲載



在グアダハラ(メキシコ):本学留學生他



在メキシコシティ:本学卒業生他

東南アジア・アメリカ・中南米訪問を経て

佐野学園理事長 佐野元泰

2012年に学科改編を行った本学は、従来の英米語学科、国際コミュニケーション学科に加え、新たにアジア言語学科(中国語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、タイ語専攻)、イベロアメリカ言語学科(スペイン語、ブラジル・ポルトガル語専攻)と、日本が次なる発展を遂げていくために大切な環太平洋の国々の言語や文化背景を包括的に学べる環境を創り上げました。

成長著しい新興国の言語を包括的にまとめることにより、神田外語大学は教育機関として、社会にどのような貢献が出来るのだろうか。私は、これらの国々を歴訪する旅を通して一つの答えを見つけました。

昨年、グローバル化と言われる中、若者の内向き思考が取り沙汰されるなど、様々な矛盾に直面している日本企業ではありますが、本学の卒業生は率先して海外で、自ら学んだ言語や文化の知見を活かし、自らのため、そして日本の将来を支えるために様々な企業で活躍しています。私は、多くの困難を乗り越え、活力に溢れた多くの卒業生たち

に、東南アジア、アメリカ、中南米と各地で出会うことが出来ました。

彼らは一様に、「自ら学んできた言語を使って仕事がしたい。」「若い今だからこそ挑戦したい。」「自らの独自性を活かすのは言語と文化知見を最大限に利用して仕事することだ。」と自らの可能性を求めて海外へ飛び出して行った先駆者たちでした。当然異国での文化環境の違いに苦勞することもあったと思います。ただ彼らは自らの決断ゆえか、総じて生き生きと笑顔でチャレンジしていました。

私は、この卒業生たちとの出会いにより、教育機関としての神田外語大学の使命は、グローバル社会において日本が今求めている海外で活躍できる若者を一人でも多く輩出することではないかと感じました。そのために今後我々は、更に多くの学生が海外で直接活躍できるための環境を整備したいと思います。具体的には、海外での同窓会の拠点構築、卒業生同士が情報交換できる環境整備、海外就職情報の収集発信など、神田外語大学生同士がお互いコミュニケーションをとり、刺激しあえる環境整備を行いたいと考えています。そして、自ら学んだ言語を使って各地で活躍する神田外語大学生が世界中に拡がっていくことを期待したいと思います。

留學生別科交換留學生がコンテスト、弁論大会で活躍!

上野ミュージアムウィーク「外国人留學生UMW感想文コンテスト」で受賞

5月11日(土)～26日(日)、「国際博物館の日」記念事業2013上野ミュージアムウィークの一環として行われた「外国人留學生UMW感想文コンテスト」(今年度のテーマは「上野で発見!日本、母国、世界」)にて、本学留學生別科所属の交換留學生が優秀な成績をおさめた。

優秀賞

- Reyes B. Claudia (メキシコ、グアダハラ大学出身)
- Walker Jacob (アメリカ、ミネソタ州立大学ムーアヘッド校出身)
- Sari Pitria Kumala (インドネシア、リア外国語大学出身)

佳作

- Judith Zamora (スペイン、バルセロナ自治大学出身)
- Bayu Wibowo Putra (インドネシア、アトマジャヤ大学出身)
- Luu Tran Thuy Truc (ベトナム、ホーチミン市人文社会科学大学)
- Nguyen Thi Thu Tung (ベトナム、ホーチミン市人文社会科学大学)

このうち、Reyes B. Claudia さん、Walker Jacob さんは留學生別科の日本語科目「日本語インターアクション1」の学外活動として同イベントに参加。一部の受賞者の感想文は「上野のれん会」ウェブサイト(<http://uenonorenkai.com/tokusyuu.html>)にて掲載中。

「第12回外国人留學生による日本語弁論大会」(敬愛大学主催)第2部で優勝

11月9日(土)、敬愛大学稲毛キャンパスにおいて「第12回外国人留學生による日本語弁論大会(主催:敬愛大学)」が開催され、本学留學生別科のWalker Jacobさん(アメリカ、ミネソタ州立大学ムーアヘッド校からの交換留學生)が第2部/一般公募部門に出場し、最優秀賞に選ばれた。

Walkerさんは「正義—私の好きな日本語のことば」と題したスピーチの中で、「正義」という言葉の持つ意味の日米差について、独自の視点から興味深く論じた。

受賞したWalker Jacobさん (右から2人目)



KUIS卒業生交流会支援制度のご案内

神田外語大学同窓会では、部活・サークルのOB・OG会やクラス会の開催を支援する制度を平成22年3月からスタートしています。

代表者が同窓会費を納入済で5名以上の卒業生が参加する会であれば、参加者1名につき¥1,500を支援します。(※ただし年度内に1回限り)また教職員の方も支援対象となります。(※退職された方も含まれます。)

詳しくは下記同窓会ホームページをご覧ください。ご不明な点がございましたら、同窓会事務局までお気軽にお問い合わせください。卒業生の皆様のご利用をお待ちしております。

KUIS卒業生交流会支援制度

<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/dosokai/shien/>

支援制度に関するお問い合わせ

神田外語大学同窓会事務局 〒261-0014千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1
TEL 043-273-2519 E-mail almn@kanda.kuis.ac.jp
受付時間 9:30~17:15 (土日・祝日、年末年始・入試期間・GW・お盆などの大学閉鎖期間を除く)

大学院からのお知らせ

神田外語大学大学院では、日本語学・日本語教育学の各分野の先端的研究を学ぶことができます。もう一度、神田外語に戻って、あなたの専門性をさらに高め、キャリア・アップにつなげてみませんか?

卒業生対象 大学院学内入試

■言語科学研究科修士課程(日本語学専攻)

一定の資格を持つ卒業生を対象にした入学試験を実施しています。筆記試験が免除され、提出された小論文と書類、そして口述試験のみで選考されます。また、本学大学院への入学金は免除されます。

詳しくは<http://www.kuis.ac.jp/graduate/gakunai.html>まで。

出願期間 2014年1月23日(木)~2月6日(木)必着
試験日 2014年2月15日(土)
合格発表 2014年2月25日(火)

■言語科学研究科 <http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/subject/grad/>
■お問い合わせ 神田外語大学 大学院入試係 TEL:043-273-1320 内線1147
Email:prunit@ml.kuis.ac.jp

修士課程
日本語学専攻

就職、転職、サポート窓口!

当社は、神田外語グループの人材会社として卒業生の皆様のキャリアサポートを行っています!

具体的なお仕事紹介はもちろん個々のニーズに合わせたサポートをいたします!
どのようなことでもお気軽にお問い合わせください!

- 転職支援・キャリア相談 ● 専任のキャリアカウンセラーが随時対応いたします。
- 相談例 ・就業中だが、キャリアアップのための転職を考えている。
・海外で働いてみたい方(インドネシア・ベトナム・タイなど)
・海外留学から帰国したので、日本で就職活動をしたい。

卒業生はもちろん
一般の方も
お待ちしております♪

● 外国語を生かせるお仕事情報 ●

【紹介先企業例】物流、メーカー、商社、翻訳サービス、IT系、教育機関など
【お仕事例】貿易実務、営業事務、通訳、翻訳、秘書など単発や期間限定のお仕事もあります!

お気軽にお問い合わせください

~学校法人佐野学園・神田外語グループの人材サービス企業~ TEL:0120-372-453(フリーダイヤル)
Email: info@kgai.co.jp
神田外語アソシエイツ株式会社 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-13-9
一般労働者派遣事業: 般13-010268 / 有料職業紹介事業: 13-コ-010769 神田外語本部ビル2階(JR神田駅西口より徒歩2分)

British Hillsからのご案内

ご宿泊プランのご案内

英国の伝統的なスタイルで祝う「クリスマスプラン」、カウントダウンで賑やかに新年を迎える「ホグマニナイト」など、さまざまなプランをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。



- 期間: 2013年7月1日(月)~2014年3月31日(月)
- 料金: ¥16,000~(1泊2食付・税込)

上記以外にも各種プランをご用意しております。詳しくはホームページをご覧ください。

ご予約・お問い合わせ プリティッシュヒルズ ☎0120-131-386 (フリーダイヤル)

ホームページ <http://www.british-hills.co.jp/>



神田外語キャリアカレッジ

(KGCC: Kanda Gaigo Career College)

神田外語大学付属機関 神田外語キャリアカレッジ(東京都千代田区内神田)は、個人様向けの通学講座を実施しています。

語学・コミュニケーション講座

基礎から実践レベルまで英語及び多言語を用いた総合コミュニケーション力向上を目指します。

資格・検定準備講座

語学関連資格から、ビジネスキャリアアップや就職に役立つ資格・検定まで様々なゴール到達を目指します。

短期集中講座・セミナー

語学関連スキルやグローバルビジネスに必須の異文化理解まで短期集中講座で理解を深めます。

KALL VISTA(コールビスタ)

KALL VISTA (Kanda Adult Language Learning Village of Innovative Study and Training Access)は、語学力アップを目指すビジネスパーソンへの自立学習支援サービスです。より効率的に継続的に学習ができるようにサポートします。詳細は、<http://kallvista.org>をご覧ください。



お問合せ・資料請求・無料レベルチェック

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-13-9 神田外語本部ビル3階
神田外語キャリアカレッジ 個人様向け通学講座担当
電話: 03-3254-7100 FAX: 03-3254-7107 TEL受付時間: 火~金13:00~20:00, 土10:00~16:30
Email:kgcc@kifl.ac.jp ホームページ: <http://www.kandagaigo.ac.jp/kgcc/>

J-SHINE
資格取得
講座

NPO小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定

児童英語講師養成講座

この冬 注目の資格を取得!

1月コース限定特典あり!!
更に、KUIS生・ご卒業生は
入金会無料&受講料10%OFF!!
(約4万円相当の教材費込)

キッズクラブのことも英語教室でも使用している教材セットと、科目ごとに指導現場のノウハウが詰まったハンドアウトを使用!

KUIS在学生へは交通費1万円補助つき



1月コース(92時間)

期間: 2014年1月25日(土)~3月22日(土)
授業日: 水・金・土(週3日の通学タイプ)
時間: 水・金(昼コース)10:00~13:00
(夜コース)18:30~21:00
土 10:00~17:00
場所: 神田外語学院
(JRまたは銀座線「神田駅」より徒歩2分)

充実のカリキュラム例

- 理論科目 「子どもの言語習得」「児童心理」など
- 実技科目 未就園児~小学校高学年までの教授法をワークショップ形式で学びます
- 英会話 外国人講師による発音のクリニックなど

講座のおすすめポイント!

- 安心の振替制度! 昼間⇔夜間もしくは4月コースで振替可能
- 小学校・教室見学 公立小学校、その他教室の英語授業見学またはアシスタントが可能!



まずは
無料個別相談会へ!

相談会は月~土曜日で開催中!
気になる事は何でも講師に
お気軽にご相談ください。
ご参加お待ちしております!!

相談会に参加して
受講お申込みの方へ
別途特典あり!



① 神田外語グループ

神田外語キッズクラブ
〒101-0047
東京都千代田区内神田2-13-9神田外語本部ビル4F

フリー
ダイヤル
ホーム
ページ

0120-154-815

神田外語キッズクラブ 検索 Click

詳しくは
コチラ!!

お問い合わせ一覧

各部署へ直接お問い合わせください。

■受付時間

平日
9時30分~11時30分
12時30分~17時15分

土曜日

9時30分~11時30分

※12月24日(火)から1月3日(金)は、
冬季休業期間とさせていただきます。

お問い合わせ内容	部署名	電話番号
科目履修や授業、留学	教務課・国際交流課	043-273-1320
学生生活や奨学金、各種証明書	学生課	043-273-2948
就職、進路	キャリア教育センター	043-273-1598
学生相談、カウンセリング	メディカルセンター	043-273-1495
授業料の納入	総務部	043-273-1322
図書館の利用	図書館	043-273-1192
入試、イベント	広報部	043-273-2826